

令和4年2月吉日

チーム各位

金沢市学童野球連盟

理事長 安崎 安德

県下No.1【青少年健全育成】をめざして！

コロナ禍の中、金沢市学童野球連盟ご関係の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染対策に、また当連盟の活動に対しご理解、ご協力頂き、誠にありがとうございます。

指導者の皆様方におかれましては、コロナ渦の中、選手とのコミュニケーションが取りづらい中で工夫し、指導していることと拝察いたします。

しかし、全国的に見ても、指導者による「暴言やパワハラ等の問題」が報告されております。そこで、石川県学童野球連盟では、県下全域での「マナーアップ運動」を展開していく事と決定いたしました。

「少年野球は楽しいもの」「選手のミスを指摘しない」などの基本的指導を基に、今一度チーム内で話し合い指導してください。（※競技者必携46P・1, 2を熟読してください。）

また保護者の皆様におかれましては、自分の行動が相手に心地よく感じられるか？ 相手チームがどう受け取るか？ 試合を取り仕切っている審判員がどう思うか？ 等、マナーとは、『常に相手の心の動き』に意識を向けることと思ひ、子どもたちの応援をよろしくお願いいたします。

試合では、敵味方にとらわれず、両チームの良いプレー、良いバッティングには、拍手を！

ミスをした時の「あー」や「何しとるがー」「しっかりせーまー」は罵声です。決してマナーの良い行動ではありません。自分たちの若い頃の当たり前は、今の当たり前ではありません。

最後に、当連盟といたしましては、全ての選手が練習から試合迄、萎縮せず伸び伸びと野球が出来る環境を学童野球に携わる皆様とともに整えていけるよう努力して、県下No.1の健全な金沢市学童野球連盟をつくっていきましょう。

以上